

第 114 号
2023 年 (令和 5 年)
11 月

たけはら

市民と議会

<http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/>

特集	2
令和 4 年度決算	6
議案概要・採決結果	8
一般質問	10
編集後記	12

特集

みんなが
住みたくなるまち



▲市内4校の中学生の皆さん



特集 みんなが

住みたくなるまち

第1回 中学生 and 市議会

広報広聴委員会は以前、高校生とのグループワークを実施いたしました。このたびは、中学校、義務教育学校の生徒と直接対話することで若者の声を生で聞き、今後のまちづくりにつなげていくことを目的とし、市内4校の中学生を議会に迎えて意見交換会を実施いたしました。



A グループ

住みたくなるまち

アットホームで
明るいまち

自然や歴史が
豊かであるまち

インドアスポーツが
できるまち

遊園地などの子供が
遊べる楽しい施設が
あるまち

特色ある楽しい高校
や大学があるまち

廃校を使った水族館
やお化け屋敷がある
まち

風力発電などの発電
所を増やし、電気に
困らないまち

地域のつながりが
強いまち

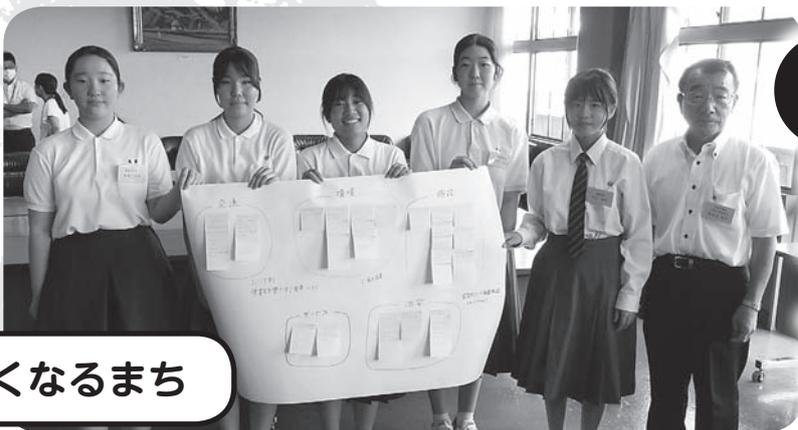
交通が便利なまち



まとめ意見

いろんな意見を聞くことで、自分が思うより他の視点から見ると竹原に問題があるなと気づくことができた。電気代など高くなっているの、少しでも安くするために竹原に発電所を増やしたい。

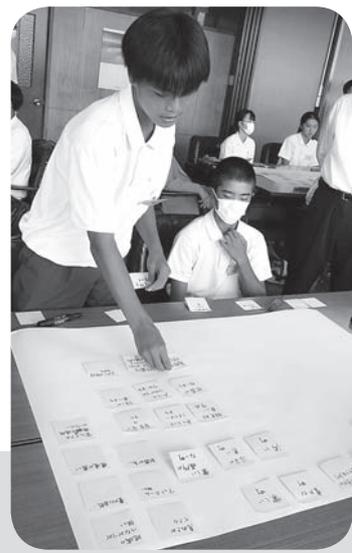




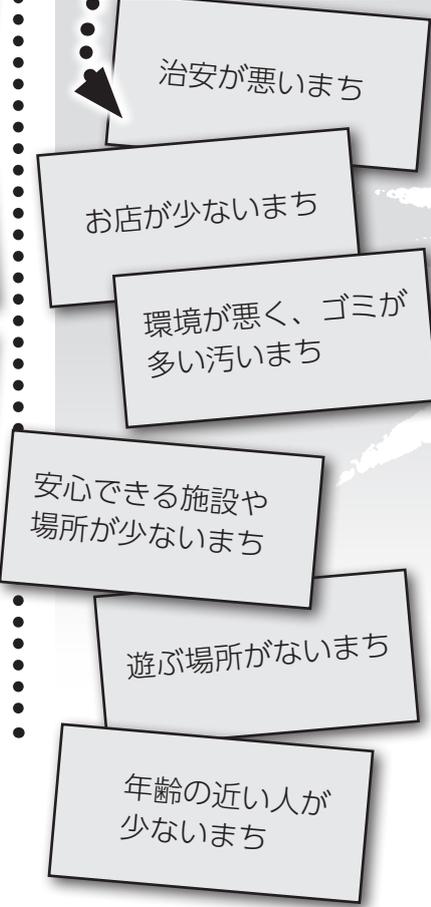
B
グループ

住みたくなるまち

住みたくないまち



住みたくないまち

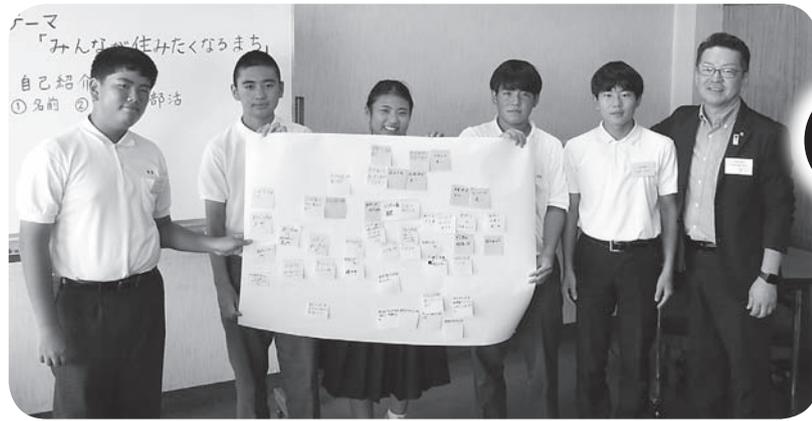


まとめ意見

みんなと意見交流をして交通や環境、施設のことが出た。若者たちの施設を増やすことで子育てしやすいまちになり、高齢者も住みやすくなると思う。今度は実際にどうしたらよいか話し合いたい。



◎ グループ



住みたくなるまち

情報伝達が早いまち

バンブーなどで有名な音楽グループがライブをしてくれるまち

市外の人が遊びに来てくれるまち

空き家の再利用ができるまち

子供と高齢者に優しいまち

小さいまちだからこそ自転車でもどこにも行けるまち

特産品が多いまち

祭りやイベントが多いまち



住みたくないまち

子供が幸せと思わないまち

事故が多いまち

地域仲が悪いまち

廃墟が多く、人がいないまち

交通が不便なまち

駅からお店まで遠いまち

災害に弱いまち

まとめ意見

スポーツイベントやライブを開催して、多くの人に竹原を利用してほしい。多くの人が利用するためには交通面を整える必要があり、ぜひバンブー駅をつくってほしい。



住みたくなるまち

交通手段に
困らないまち

観光客が来たくなる
ようなまち

買い物に
困らないまち

にぎわいがあり
楽しそうなまち

きれいな
自然があるまち

地域の人と
仲がよいまち

子供が遊べる屋内施設があるまち

《例：空き店舗にボールプールなど子供が遊べる場所を設置
→市内の子供が楽しめる→市外の人も行きたいと思う→
住みたいと思う人が増える》

子供が元気に
育つまち

子供から大人までが
楽しめるまち

子育てしやすいまち

町おこしや
イベントが多いまち



まとめ意見

地域の人が買い物に困らないように電車の本数を増やしたり、お店までの直通のバスがあればよいと思う。観光客がもう一度来たくなるまちにしたい。

●竹原中学校 九十九校長先生

もっと壮大で夢のような提案が出るかと思っていましたが、意外と現実的で、足元を見つめてよく考えていると思いました。

●賀茂川中学校 北村校長先生

まちづくりには、「こんな街にしたい」という思いや願いが大切だということに気づくいい機会でした。4校の交流もできてよかったと思います。

●吉名学園 亀井校長先生

「こんな街にしたい」という熱い思いが伝わりました。皆さんが主権者なので、どうしたら実現するかをしっかりと勉強して、一緒にいい街を作りましょう。

●忠海学園 大和教頭先生

日頃の生活に根差した意見がたくさん出ていました。他の学校の生徒の意見も聞いて、忠海学園の生徒が、どうしたら地域に貢献できるかを考えていけたらいいと思います。

各校の先生からひとこと



D
グループ

住みたくないまち

物がそろわなく
不便なまち

店が少ないまち

治安が悪いまち

安全でないまち

ゴミであふれている
まち

地域の人達が
仲良くないまち

人口が多すぎるまち



委員長 今田 佳男 副委員長 道法 知江

●決算特別委員会には

- ・議案第55号 令和4年度竹原市歳入歳出決算認定について
- ・議案第56号 令和4年度竹原市下水道事業決算認定について
- ・議案第57号 令和4年度竹原市水道事業決算認定について

の3議案が付託され、議案第55号と議案第57号は賛成多数で、議案第56号は全会一致で認定することに決しました。

●審査スケジュール

- 9/5 正副委員長互選
日程・資料請求
- 9/19 詳細審査 総務企画部
- 9/20 詳細審査 市民福祉部
- 9/21 詳細審査
教育委員会・建設部
- 9/25 全体審査・討論・採決

審査の様子は
動画でみる
ことができます！



■歳入歳出決算認定について（議案第55号）

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	16,918,913,355円	14,276,248,824円	13,695,476,338円
国民健康保険特別会計	2,942,547,000円	2,815,183,201円	2,798,184,473円
貸付資金特別会計	6,570,000円	5,630,261円	5,630,261円
港湾事業特別会計	61,189,000円	60,067,840円	38,325,741円
公共用地先行取得事業特別会計	1,000円	0円	0円
介護保険特別会計	3,613,983,000円	3,446,825,230円	3,315,572,252円
後期高齢者医療特別会計	518,012,000円	515,363,194円	513,367,537円

■下水道事業決算認定について（議案第56号）

区分	収入決算額	支出決算額
収益的収入及び支出	581,953,081円	573,357,193円
資本的収入及び支出	448,783,746円	567,747,735円

資本的収入額（翌年度繰越財源を除く）が資本的支出に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、繰越工事資金、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補填した。

■水道事業決算認定について（議案第57号）

区分	収入決算額	支出決算額
収益的収入及び支出	889,790,563円	774,286,914円
資本的収入及び支出	29,530,560円	457,306,754円

資本的収入額が資本的支出に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、減債積立金、建設改良積立金で補填した。

※令和4年度決算の概況は、広報たけはら12月号でも公表されます。

令和4年度決算 賛成多数で認定!

①人事管理に要する経費について

令和4年度のラスパイレス指数と今後の人件費に対する方針は。

令和4年度のラスパイレス指数は100.4であり、給与の適正化について取り組んでいきたい。また、業務量調査を踏まえ、職員の定数管理についても努めてまいります。



⑤未来技術人材育成事業について

令和4年度はコロナ禍で会議はウェブ形式で開催されたようだが、どのような効果があったか。

企業誘致として人材の誘致を進めようとしており、現在竹原発のスタートアップとして若い起業家が実証実験事業を進めています。今後竹原で開業すれば、Uターンなどに期待できるのではないかと考えています。

②教育総務費のなかで

どこでどんないじめがあるかわからないので、楽しい学校生活ができるようにしっかりと目を配っていただきたい。

いじめの事案が表面化した場合には学校で速やかに対応できるようにしているが、水面下でもこうした事案が起こらないように、生徒に対しては情報モラルについても指導をしています。

⑥生活バス路線維持補助金について

バスを運行するという形態そのものを考える時期ではないか。

補助額も多額であり、改善の必要があると認識しています。公共交通を取り巻く環境の変化を受けて、限られた資源を有効に活用するなど、今後計画を見直す中で検討したい。



③RPAサポート業務委託料について

庁内情報化に要する経費としての効果は。

昨年、職員に対しRPAツールの操作について研修した費用であり、RPAは定型業務について自動化するもので、各職員が課題となる業務を持ち寄ってツールを作成し、実際の業務に活用できおり、今後も実績を積み重ねたい。



⑦海外派遣業務委託料について

応募して選考されなかった生徒に対するケアはどのようにされているのか。

生徒が在籍する各学校とも連携して、しっかりケアをしていきたい。参加した生徒に、選考されなかった生徒も含めて、全ての生徒が対象であるということを自覚させて、しっかり還元していきたい。

④斎場施設管理に要する経費について

毎年多額の修繕を行っているが、いつまで使用できると想定しているのか。

現在の斎場は35年を経過しているが、耐用年数は一般的に50年といわれています。移転、建て替えとなると計画から10年程度はかかります。財政状況等を鑑み、長寿命化を図るのが適当と考えています。

⑧収入未済額の収納対応について

収納未済額収納率向上のため、目標をもって対応されているか。

債権確保対策委員会を設けて庁内で連携して取り組んでおり、委員会で5年間の目標を設定して管理しています。



●令和5年第1回臨時会 議案概要・採決結果

令和5年7月27日 ○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	委員 会託	平 井	村 上	齋 麦 田	下 垣 内	今 田	山 元	高 重	堀 越	川 本	大 川	道 法	吉 田	宇 野	松 本	議決 結果
議案 第 47 号	工事請負契約の締結について	竹原市新庁舎(旧たけはら合同ビル)大規模改修等工事の請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの	総務 文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	退席	○	原案 可決
発議 第 5-3 号	産業廃棄物処理施設設置者に対する行政処分に関する意見書(案)	地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	○	○	原案 可決

意見書 産業廃棄物処理施設設置者に対する行政処分に関する意見書 (要旨)

- 県は、令和2年4月23日付けでJAB協同組合に対し、産業廃棄物処理施設の設置の許可をしました。
- この産業廃棄物処理施設の建設計画については、竹原市民は大きな不安と懸念を感じていたことから、竹原市議会は、平成31年4月9日付で県知事に対し、「本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に係る意見書」を提出し、業者に対する適切な指導に努めていただくよう強く要望していました。
- ところが、浸透水から基準値を超えた汚染が判明し、県が搬入停止を指導したにもかかわらず、廃棄物が搬入されていたことが県の立入検査で確認されています。
- このような業者の対応は、生活環境の保全上支障を生じさせるおそれがあり、竹原市民の不安や懸念を増大させることから、県が業者に対し、積極的かつ厳正に対処されるよう強く求めるものです。

可決した意見書は、9月7日に広島県庁へ持参し、環境県民局長と面談のうえ手渡しました。



▲提出の様子

全員協議会

8月30日に全員協議会を開催し、公共施設ゾーン再整備検討事業に係る取組状況について、説明を受けました。

初めに、中心市街地のまちづくりについて、都市機能や居住機能を集約することで賑わいを高めること。

次に、複合施設について、民間の創意工夫により、コンパクトに複合化するメリットを追求すること。

そして、計画の進め方について、ワークショップやアンケートを通じ、広く市民の意見を取り入れること。

最後に、今後の予定について、令和7・8年度で現庁舎の解体、その後、施設整備工事は令和10年度末の完成を予定していること。

以上の説明を受け、議員からはホール規模、旧ゆめタウンの跡地利用、意見聴取の方法、財源についての質疑があり、その後、この事業に係る特別委員会の設置について協議し、当面、特別委員会の設置は見送ることにしました。

●令和5年第3回定例会 議案概要・採決結果

令和5年9月5日～令和5年9月27日 ○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	委員 会託	平 井	村 上	齋 田	下 垣 内	今 田	山 元	高 重	堀 越	川 本	大 川	道 法	吉 田	宇 野	松 本	議決 結果
報告 第 8 号	令和 4 年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	令和 4 年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、議会に報告するもの		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原案 報告
報告 第 9 号	損害賠償額の決定について	物損事故について損害賠償の額を定めるため専決処分したので報告するもの		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原案 報告
議案 第 48 号	竹原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	竹原市固定資産評価審査委員会委員中住田 芳夫 委員は、令和 5 年 9 月 29 日をもって任期満了につき、その後任委員を選任しようとするもの(住田芳夫氏)	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案 同意
議案 第 49 号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中国兼 千代美 委員は、令和 5 年 12 月 31 日をもって任期満了につき、その後任委員を推薦しようとするもの(国兼千代美氏)	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	異議 なし
議案 第 50 号	工事請負契約の締結について	大王地区浸水対策事業雨水ポンプ場整備工事の請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの	総務 文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠 席	○	欠 席	○	原案 可決
議案 第 51 号	竹原市保育所設置及び管理条例を廃止する条例案	児童数の減少により現在休止中である東野保育所を廃止するもの	民生 都市 建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠 席	○	欠 席	×	原案 可決
議案 第 52 号	竹原市職員の特務勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	国家公務員の防疫等作業手当の支給条件等が変更されたことを踏まえ、防疫等作業に従事した職員に支給する特務勤務手当を改めるもの	総務 文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠 席	○	欠 席	○	原案 可決
議案 第 53 号	竹原市手数料条例の一部を改正する条例案	旅館業法が改正され、事業を譲渡する場合には、地位の承継の承認申請により、営業者の地位が承継されることとされたため、当該申請に係る手数料を定めるもの	民生 都市 建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠 席	○	欠 席	○	原案 可決
議案 第 54 号	竹原市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案	個人番号の独自利用事務に、生活に困窮する外国人に対して行う生活保護法の取扱いに準じた被保護者健康管理支援事業の実施に関する事務を加えるなどするもの	民生 都市 建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠 席	○	欠 席	退 席	原案 可決
議案 第 55 号	令和 4 年度竹原市歳入歳出決算認定について	地方自治法第 233 条第 3 項の規定により、令和 4 年度竹原市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	×	×	原案 認定
議案 第 56 号	令和 4 年度竹原市下水道事業決算認定について	地方公営企業法第 30 条第 4 項の規定により、令和 4 年度竹原市下水道事業決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案 認定
議案 第 57 号	令和 4 年度竹原市水道事業決算認定について	地方公営企業法第 30 条第 4 項の規定により、令和 4 年度竹原市水道事業決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案 認定
議案 第 58 号	令和 5 年度竹原市一般会計補正予算(第 3 号)	歳入歳出それぞれ 66,266 千円を増額補正するもの	総務 文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠 席	○	欠 席	○	原案 可決
議案 第 59 号	令和 5 年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	歳入歳出それぞれ 2,063 千円を増額補正するもの	民生 都市 建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠 席	○	欠 席	○	原案 可決
議案 第 60 号	令和 5 年度竹原市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)	歳入歳出それぞれ 65,625 千円を増額補正するもの	民生 都市 建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠 席	×	欠 席	○	原案 可決
議案 第 61 号	竹原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	地方税法施行令の一部が改正され、出産被保険者に係る産前産後期間の国民健康保険税の軽減制度が新設されたため、必要な規定を整備するもの	民生 都市 建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案 可決
請受 第 5-1 号	消費税インボイス制度の実施延期を求める請願書	国に対して「消費税インボイス制度の実施延期を求める」意見書を提出するよう求めるもの	総務 文教	○	×	○	×	×	×	×	×	×	議長	欠 席	○	欠 席	○	不採 択
陳受 第 5-6 号	中通小学校区内の生活道路・橋架整備の要望書	中通小学校区内の生活道路・橋架整備を求めるもの	民生 都市 建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠 席	○	欠 席	○	採 択
発議 第 5-4 号	少人数学級、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げに係る意見書(案)	地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案 可決

… 主な議案 …

議案第61号 竹原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

- ・内 容 / 国民健康保険税の納税義務者又はその世帯に属する被保険者が出産する予定の場合又は出産した場合には、国民健康保険税を4カ月分(多胎の場合は6カ月分)減額するもの。



まつもと
松本

すすむ
進

●本郷産廃場の撤去を市長の責任で取り組め！
●民意の反映と学校統廃合問題



質問 本郷産廃場の建設をめぐる7月4日の広島地裁判決は、広島県の産廃設置許可の手続は見越ごすことのできない誤りがあったことを認めて、その判断に基づく許可処分は違法として、住民側の訴えを認めました。市長はこの判決をどのように受け止めますか。

答弁 市長 県は控訴しており、その裁判を注視します。

質問 広島県の水質調査結果、水質汚染が発生した原因の分析、対応は。

答弁 市長 集排水管に堆積した落ち葉や小動物の死骸などの有機物が降雨で一度に排出され、BODの数値が高くなったと事業者から県へ報告されています。事業者が有機物の除去洗浄後、県が水質検査を実施し、基準値以下を確認しています。

質問 産廃法の展開・目視検査では指定5品目以外の混入防止は不可能で、水源上流域の産廃場は撤去以外に水源汚染を防止することはできないのではないかと。

答弁 市長 法令に基づく適正な維持管理が不可欠です。

質問 市立学校統廃合の説明会の保護者・地域住民の

出席状況を踏まえた学校統廃合の合意形成の在り方をどのように認識しているか。

答弁 教育長 保護者は、東野小18人(94・7%)、仁賀小6人(50・0%)、大乗小28人(63・6%)、賀茂中12人(22・6%)、庄野小14人(22・2%)。地域住民の出席は、東野小42人(3・8%)、仁賀小10人(4・1%)、庄野小13人(0・7%)、大乗小44人(2・5%)です。

出席状況を踏まえた学校統廃合の合意形成の在り方は、立場や価値観の違いから完全な合意形成を得ることには限界があると考えています。

質問 北部・大乗の現在の教職員数と統廃合後の教職員数と削減効果額は。

答弁 教育長 現在の教職員は、東野小8人、庄野小13人、仁賀小6人、賀茂中15人、大乗小12人です。北部3小・1中の統合新設後の県費負担教職員は20人ですが、児童生徒の状況により加配されるため、現時点で配置数を推計するのは困難です。

は困難です。



ほりこし
堀越

けんじ
賢二

●樋門管理の現状と今後について
●竹原市立学校適正配置計画について



質問 災害が大規模化し、想定外の事態が日本全国で発生している現状があり、生活に直結するこの樋門の管理は重要性を増していると思います。

適切な樋門管理をし、洪水や水不足などのリスク管理をすることで水資源の効率的な利用や災害リスクの低減が可能となります。現在、竹原市が管理している樋門の数と内訳を伺います。

答弁 市長 樋門施設が本市には全体で21か所あり、そのうち手動で開閉する施設が16か所、市民の方へ管理を委託している施設が12か所あります。

質問 樋門ゲートの開閉を管理者ということだけでなく、災害の大規模化も想定に入れた、地域ぐるみでリスク管理、リスク分散を考えていく必要があると思うが。

答弁 市長 具体的な対応を検討する必要は間違いなくあるというふうと考えております。

質問 学校適正配置計画を進める中で準備委員会がよりよい状態で機能するため

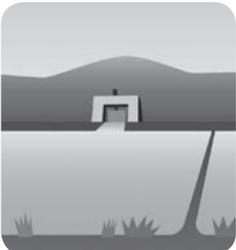
には、教育委員会において柔軟かつ適切な介入が必要だと考えます。

今後の準備委員会のスケジュールを含め、関係者の安心度が上がる対応について伺います。

答弁 教育長 準備委員会の委員の選定を進め、第1回目となる会議を11月までに開催し、協議の進捗状況を踏まえながら定期的に会議を開催し、会議においては、保護者や地域の方の要望や意見にしっかりと耳を傾けていく姿勢を堅持しながら、可能な限り心配や不安の解消に努め、御理解いただけるよう取り組んでまいります。

質問 準備委員会の中の教育委員会としての立ち位置をどう考えているのか。

答弁 教育長 基本的には市民起点、市民の目線に立って物事を判断し、いろいろ考えていこうと思っております。





どうほう ともえ
道法 知江

●地域共生社会へ向けて
●みどりの食料システム戦略について



質問 「行政文書見直し」(お役所言葉やめます) 堅苦しく分かりにくい文書を見直す手引を作成していただけますか。

答弁 市長 事務文書の手引を作成し、簡単に明瞭、適切な言葉に努め、市民に分かりやすく伝わる文章となるよう工夫してまいります。

質問 生活困窮者の自立支援/コロナ禍で顕在化・深刻化した孤独や孤立で生活に不安を抱え、就職・住まい・家計など悩みを抱えている方へ一つの窓口で断らない相談支援体制をどのように構築されますか。

答弁 市長 複雑・複合的な課題の相談を包括的に受け止める体制として、来年度の福祉総合窓口の開設に向け準備を進めています。

質問 ひきこもりについて/当事者にとって重要な窓口相談の専門職人員の確保や安心できる居場所づくり、アウトリーチ(必要な人に必要なサービス)支援の準備をお聞きます。

答弁 市長 地域における居場所づくりや本人との信頼関係を構築するためにアウトリーチ手法を検討し本市に適した伴走型支援の体制構築を目指してまいります。

質問 食料の安定供給や災害や温暖化に強く、環境を重視する持続可能な取組として、2050年まで化学肥料・化学農薬削減に取り組み、25%を有機栽培に拡大との目標があります。みどりの食料システム戦略の実現をどのように推進されますか。

答弁 市長 有機栽培や無農薬栽培の相談を受けることも増えて、若い世代を中心に有機栽培への関心も高くチャレンジしている農業者もいます。販売単価の向上など有機栽培のメリットを周知し、農業者が主体的に有機栽培に取り組めるよう努めるとともに、本年3月に策定した計画に定めた環境負荷低減事業活動を促進してまいります。



議会のうごき

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 7月31日 民生都市建設委員会
東京都武蔵村山市議会来庁 | 9月15日 議会運営委員会
本会議 |
| 8月9日 中央環境衛生組合先進地視察
(~10日) | 9月19日 決算特別委員会 |
| 8月10日 広島県議会来庁 | 9月20日 決算特別委員会 |
| 8月17日 議会運営委員会 | 9月21日 決算特別委員会 |
| 8月23日 三重県鈴鹿市議会来庁 | 9月25日 決算特別委員会 |
| 8月25日 民生都市建設委員会 | 9月27日 議会運営委員会
本会議 |
| 8月30日 議会運営委員会
全員協議会 | 9月28日 長崎県松浦市議会来庁 |
| 9月5日 本会議
決算特別委員会 | 10月11日 広島県水道広域企業団全員協議会 |
| 9月7日 総務文教委員会 | 石川県七尾市議会来庁 |
| 9月8日 民生都市建設委員会 | 10月19日 民生都市建設委員会 |
| 9月11日 本会議 | 10月23日 広島県水道広域企業団定例会 |
| 9月12日 本会議 | 10月26日 青森県黒石市議会来庁 |
| | 10月30日 後期高齢者医療広域連合定例会 |

*この間、広報広聴委員会は3回行いました(8/24, 9/12, 10/17)。

特集

みんなが住みたくなるまち



▲グループワークをする中学生

《特集後記》

夏休み中にも関わらず、快く参加してくださった市内4校の先生方・生徒の皆さん、ありがとうございました。

広報広聴委員会としては以前高校生とのグループワークは行いましたが、中学生に対しては初めての取組でしたので、とても緊張しました。しかし、意見交換をしていく中で、生徒の皆さんがどのようなしたら、「みんなが住みたくなるまち」になるかを真剣に考えて、その思いを自分たちの言葉でしっかりと伝えていく姿に感動しました。

当事者のことであること、その地域に暮らす市民であること、未来への希望をつなぐためにも選挙権のない若者の声もしっかりと受け止め、議会、行政が一体となり、住みたくなる竹原にしていければと改めて感じました。

村上 まゆ子

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP

竹原市議会

検索



次回定例市議会は、12月中旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

昭和33年11月3日 竹原市が誕生しました。昭和時代には公共施設が多く建設され(昭和41年市庁舎・児童館、昭和43年市民館、昭和47年福祉会館など)活気あふれる時代だったように感じます。平成時代は平成元年に竹原市斎場が完成し、平成6年にはパンブー・ジョイ・ハイランドが開園しました。イメージではありませんが、昭和と比較すると市民生活をより豊かにする施設や事業が増えた気がします。平成の終わりには大災害が発生し、令和の始まりはコロナとの戦いの始まりでもありましたが失われた激動の昭和からリーマンショックを経験した平成時代、そしてコロナと戦う現在の令和。経験を活かし住みよい町にするには協働で行う市民総参加型の動きが必要ではないでしょうか。市制65周年の節目の年ではありませんが、あくまで日々の積み重ねでありますので、しっかりと先を見据えた行動を心掛け、戦略的な町づくりを進め、市制70周年に想定外だったということのないようにしたいものです。

「広報広聴委員」◎委員長 ○副委員長

◎村上まゆ子 ○平井 明道

蕎麦田俊夫 今田 佳男

堀越 賢二 宇野 武則

堀越 賢二